

2017 年 4 月 17 日

三菱電機株式会社

## NEWS RELEASE

### 現地製品開発の加速に向けた開発・評価体制整備 三菱エレベーターアジア社・新試験塔竣工のお知らせ

三菱電機株式会社は、海外市場向け昇降機の製造拠点である Mitsubishi Elevator Asia Co., Ltd. (三菱エレベーターアジア社、以下、AMEC 社) の新試験塔が竣工し、6 月に稼働開始しますのでお知らせします。

2016 年の新工場の稼働など増産体制を整備するとともに、2015 年の R&D センターの設立や今回の新試験塔の建設により開発・評価体制を強化し、現地での製品開発をさらに加速します。



新試験塔外観

#### 新試験塔の概要

	新試験塔	新工場(参考)
施設名	Kiang Fah (キャンファー:タイ語で“空へ”)	—
建築面積	287m <sup>2</sup> (延床面積 3,182 m <sup>2</sup> )	約 4,800m <sup>2</sup> (延床面積 14,400m <sup>2</sup> )
構造	鉄骨造(高さ 68.3m、15 階建相当)	鉄骨造 3 階建
用途	エレベーター機器の開発・設計・評価試験	エレベーター機器(制御機器など)の製造
稼働時期	2017 年 6 月	2016 年 5 月
投資額	710 百万バーツ(約 22 億円)	

#### 新試験塔建設の狙い

AMEC 社は、海外市場向け昇降機の中心的な製造拠点として、海外需要の拡大や地域ごとに異なる市場ニーズに対応するために、2015 年 10 月に R&D センターを設立して現地での開発・設計を推進するとともに、2016 年 5 月には新工場を稼働し、生産能力を従来の約 1.5 倍となる 2 万台へ増強してきました。

このような中、近年の建物高層化に対応した中高速機種種の試験・評価に対応するため試験塔の高層化が必要となり、また、リニューアル需要の増加にも対応した専用機種種の拡充のため、試験塔設備の充実化が必要となっていました。今回、新たな試験塔の建設により、開発・評価体制を強化し、現地での製品開発を加速します。

#### 新試験塔の特長

##### 試験・評価環境の充実化により、製品開発・評価体制を強化

- ・試験塔の高層化により、市場ニーズに対応した高速機種種まで検証範囲を拡大
- ・リニューアル専用機種種向けを含めた試験・評価設備の拡充により、開発・検証期間を短縮
- ・現地調達機器の採用を拡大し、コスト削減やリードタイム短縮を実現

報道関係からの  
お問い合わせ先

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号 TEL 03-3218-2332 FAX 03-3218-2431  
三菱電機株式会社 広報部

## AMEC 社の概要

名称	Mitsubishi Elevator Asia Co., Ltd.(三菱エレベーターアジア社)
代表者	小寺 秀明
所在地	タイ王国チョンブリ県 アマタ・ナコーン工業団地
出資比率	三菱電機グループ 100%
資本金	1,151.5 百万バーツ(約 3,570 百万円)
営業開始日	1991 年 5 月
人員	約 2,600 名

## AMEC 社の歩み

1991 年度	会社設立	2005 年度	PM※ギアレスエレベーター生産開始
1992 年度	エレベーター・エスカレーター生産開始	2006 年度	累計生産台数 5 万台達成
1996 年度	ISO9001 の認証取得	2010 年度	「NEXIEZ(ネクシーズ)」生産開始
1997 年度	累計生産台数 1 万台達成	2011 年度	累計生産台数 10 万台達成
1998 年度	ISO14001 の認証取得	2015 年度	開発検証組織 R&D センター設立
2001 年度	累計生産台数 2 万台達成	2016 年度	新工場稼働開始による増産体制整備
2002 年度	機械室レスエレベーター生産開始		

※ Permanent Magnet : 永久磁石

## 新試験塔での主な試験項目

1. 高速エレベーター用電気・機械システムの開発・試験
2. 高速走行時における振動・騒音の抑制技術の開発・試験
3. 高速エレベーター用現地調達部品や機器の性能・耐久試験
4. 非常止めや緩衝器などの安全システムの性能・耐久試験
5. リニューアル専用機種および関連機器の開発・試験

## お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 ビルシステム海外事業部  
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号  
TEL 03-3218-3746 FAX 03-3218-2758